

Ⅲ. アンケート調査回答票

- ・リメディアル教育（高等学校課程の補修教育に限る）について

Ⅲ. 国立大学法人アンケート調査回答票目次

NO	大学分類	大学名	ページ	NO	大学分類	大学名	ページ
1	A	北海道大学	1	44	A	名古屋大学	47
2	E	北海道教育大学	2	45	E	愛知教育大学	48
3	B	室蘭工業大学	3	46	B	名古屋工業大学	49
4	C	小樽商科大学	4	47	B	豊橋技術科学大学	50
5	B	帯広畜産大学	5	48	G	三重大学	51
6	D	旭川医科大学	6	49	C	滋賀大学	52
7	B	北見工業大学	7	50	D	滋賀医科大学	53
8	G	弘前大学	8	51	A	京都大学	54
9	H	岩手大学	9	52	E	京都教育大学	55
10	A	東北大学	10	53	B	京都工芸繊維大学	56
11	E	宮城教育大学	11	54	A	大阪大学	58
12	G	秋田大学	12	55	E	大阪教育大学	59
13	G	山形大学	13	56	E	兵庫教育大学	60
14	C	福島大学	14	57	A	神戸大学	61
15	H	茨城大学	15	58	E	奈良教育大学	62
16	A	筑波大学	16	59	H	奈良女子大学	63
17	H	宇都宮大学	17	60	H	和歌山大学	64
18	G	群馬大学	18	61	G	鳥取大学	65
19	H	埼玉大学	19	62	G	島根大学	66
20	A	千葉大学	20	63	A	岡山大学	67
21	A	東京大学	21	64	A	広島大学	68
22	D	東京医科歯科大学	22	65	G	山口大学	69
23	C	東京外国語大学	23	66	G	徳島大学	71
24	E	東京学芸大学	24	67	E	鳴門教育大学	72
25	B	東京農工大学	25	68	G	香川大学	73
26	C	東京芸術大学	26	69	G	愛媛大学	74
27	B	東京工業大学	27	70	G	高知大学	75
28	B	東京海洋大学	28	71	E	福岡教育大学	76
29	H	お茶の水女子大学	29	72	A	九州大学	77
30	B	電気通信大学	30	73	B	九州工業大学	78
31	C	一橋大学	31	74	G	佐賀大学	80
32	H	横浜国立大学	32	75	G	長崎大学	81
33	A	新潟大学	33	76	G	熊本大学	82
34	B	長岡技術科学大学	35	77	G	大分大学	83
35	E	上越教育大学	36	78	G	宮崎大学	84
36	G	富山大学	37	79	G	鹿児島大学	85
37	G	金沢大学	38	80	B	鹿屋体育大学	86
38	G	福井大学	39	81	G	琉球大学	87
39	G	山梨大学	40	82	F	北陸先端科学技術大学院大学	88
40	G	信州大学	42	83	F	奈良先端科学技術大学院大学	89
41	G	岐阜大学	44	84	F	総合研究大学院大学	90
42	H	静岡大学	45	85	C	筑波技術大学	91
43	D	浜松医科大学	46	86	F	政策研究大学院大学	92

1. 北海道大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

本学ではリメディアル教育(高等学校課程の補習教育)に係る科目は開講していない。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

② 外部委託の現状、今後の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

2. 北海道教育大学

1 就職支援、キャリア支援に関する業務について

(1)業務の実施体制

① 本業務に従事している職員の人数、予算

人数 8名
予算 922万円

② 外部委託の現状、今後の予定

現状及び今後の予定ともに、外部委託はありません

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

3. 室蘭工業大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

平成20年度までは、基礎数学、基礎理科において、高等学校課程の補習教育を行ってきたが、プレースメントテストの結果、対象となる学生数は多くなかった。平成21年度からは、単独の補習授業という形では実施していないが、対象とする学生を全学生として、正課の基礎科目(全学の必修科目)のなかで、高校時の復習を交えながら行っている。

数学の基礎部分については解析A、Bに演習時間を1単位分を増し、高等学校課程の補習教育をカバーすることとした。物理の基礎部分については基礎物理A、Bにおいて、高校で物理を履修していない学生にも理解できる内容とする等工夫を行っている。

化学の基礎部分については選択科目である基礎化学において全学統一のシラバスと教科書を用いて、高校の化学を復習し、さらに専門的な知識を習得する基礎を学ぶこととしている。

また、教育方法等改善経費を投入し、補助教材の開発にも取り組んでいる。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

現在、単独のリメディアル教育は、特に行っていないが、対象とする学生を広げるという位置づけで、正課授業の基礎科目の中で高等学校課程の復習を行いながら対応している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

単独の補習教育という形態は行っていない。

② 外部委託の現状、今後の予定

行っていない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

4. 小樽商科大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

② 外部委託の現状、今後の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

5. 帯広畜産大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名	対象学生数	実施時間数
入門数学	28人	30時間
入門生物	40人	30時間
入門化学	25人	30時間
入門物理	26人	30時間
Basic English	28人	30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

高校での学習が不十分だった学生を対象に、大学で必要最小限の知識を講義することを通じて、高校教育から大学への移行を支援する。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

非常勤講師 5名、非常勤講師手当額 840千円

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託は行わないで、非常勤講師で対応

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

6. 旭川医科大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

下記3つのうちから一つを選択する。(選択必修科目)

- ・自然科学入門(物理系): 42名 1単位 20時間
- ・自然科学入門(化学系): 12名 1単位 20時間
- ・自然科学入門(生物系): 48名 1単位 20時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

・自然科学入門は、本学で展開される基礎医学科目の学習に不可欠な、物理、化学及び生物を、高校で履修して来なかった学生又は不得意である学生に対して、それらの基礎を学んでもらうため設けた選択必修科目である。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員数

- ・自然科学入門(物理系): 講師1名、予算額: 約90,000円
- ・自然科学入門(化学系): 助教1名、予算額: 約70,000円
- ・自然科学入門(生物系): 講師1名、予算額: 約80,000円

② 外部委託の現状、今後の予定

・外部委託は行っていない。また、今後行う予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

7. 北見工業大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

数学(30時間)
英語(30時間)
物理(30時間)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

補習教育を行うことによって、職業学科等を卒業した学生及び基礎学力が不十分である学生の基礎能力(総合的英語能力、数学、物理)の向上及び専門教育に対する理解をより深めることを目的としている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数:3名(非常勤講師)
予算:249千円(事業費)+501千円(人件費)

② 外部委託の現状、今後の予定

現状:外部委託は行っていません。
今後の予定:予定はありません。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

8. 弘前大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当なし

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

リメディアル教育の実施に向け、今後、検討する予定としている。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

9. 岩手大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名	対象学生数	実施時間数
・工学入門数学	／ 工学部1年次28人	／ 30時間(2単位)
・工学入門化学	／ 工学部1年次21人	／ 30時間(2単位)
・工学入門物理	／ 工学部1年次34人	／ 30時間(2単位)
・理系基礎支援講座(数学・物理・化学)	／ 学年を問わず、自主参加の学生を対象に個別指導 ／ 毎週各1～2回90分程度	

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

理系学部(工・農)の専門基礎科目に入学者を接続するための教育であり、高等学校で履修しなかった科目(学習不足)について、専門科目の学習に対応できる能力を養うことを目的とする。各学部での取組を基本として、大学教育総合センターで支援を行う。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数	予算
・工学入門	／ 非常勤講師3名
・理系基礎学習支援講座	／ 高大連携事業の一つとして県立高校教員3名、本学退職教員1名
	／ 教材費15万程度、退職教員謝金及び旅費20万程度

② 外部委託の現状、今後の予定

担当者を非常勤講師とする以外はなし。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

10. 東北大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

なし

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

なし

② 外部委託の現状、今後の予定

なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

11. 宮城教育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

現在、実施していない。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

現在のところリメディアル教育の実施は考えていない。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

② 外部委託の現状、今後の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

12. 秋田大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

入門物理学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB, Ⅲ(各2単位30時間)(常勤0, 非常勤2)
入門化学Ⅰ, ⅡA, ⅡB(各2単位30時間)(常勤1, 非常勤2)

受講登録者数(平成21年度)

入門物理学ⅠA(31), ⅠB(17), ⅡA(73), ⅡB(77), Ⅲ(22)
入門化学Ⅰ(18), ⅡA(34), ⅡB(9)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学では、科目を「教養」「基礎」「専門」の3種に分類し、そのうち基礎教育科目は専門教育を学ぶのに必要な科目として開講しているものである。特に高校段階での学習を補完するものとして、工学資源学部生を対象に「入門科目」を開講し、履修するよう指導している。入門科目は卒業要件以外の「自由単位」として位置付けている場合がほとんどである。この入門科目の科目開講については、教育推進総合センター教育活動部門が調整を担当している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

人数 : 5名
予算 : この業務に特化した予算の把握はできない。

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託は行っていない。今後の予定もなし。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

13. 山形大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

・工学部のみ「専門高校卒業者全員」「専門高校卒業者以外の希望者」に対し、数学・物理・英語の科目を実施している。
・各授業条とも、15コマ(1コマ45分)実施している。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

・高校で学んだ不十分な知識を補完するものであり、正規カリキュラムの枠外で開講され、単位としては認定していない。
・教育は各学部の責任で行い、1年次専門教育開講コマ数の枠外で行うものとする。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

・非常勤講師 5人(21年度:約300万円)
・本学専任教員 1人

② 外部委託の現状、今後の予定

・今後も従来どおりの位置付けとし、外部委託の予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

・なし。

14. 福島大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名 特殊講義「英語補習A」・「英語補習B」
対象学生数 各50名、実施時間数 各30時間
(「英語補修A」の補講 50名、30時間)

実施科目名 「数学補習」非正規科目
対象学生数 50名、実施時間数 16時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

位置付け 「補習教育」
方針及び各学部との連携 「方針及び各学部との連携はない」(経済経営学類のみ実施)

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数 英語2名、数学3名
予算額 英語139千円、数学450千円

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託は行っていない。今後も同様である。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

15. 茨城大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

工学部生全員と農学部生の希望者を対象に、入学時に数学(微積分)と物理学(力学)のプレイスメントテストを実施し、修得状況が不十分と思われる学生を対象に1年次前学期に特別科目を開講している。この科目は週二回開き、目的にあった教材を開発し、e-ラーニングを用いて自習学習を義務化し、修学の効率化を図っている。なお、受講生はそれぞれ約60名である。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学では、大学全入及び入学生の多様化に対応するために積み上げ型の学修が必要な科目では、標準的基礎学力の修得が必要と考え、理系の教養科目(共通科目)において、積極的に接続教育を進めている。一つは高等学校との接続、もう一つは専門科目との接続である。上記科目は前者に対応するものである。後者の科目として、分野別基礎科目がある。分野別基礎科目は文系科目でも開講している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の数、予算

大学教育センターの専任教員(理系では2名)と理系基礎教育部(学部教員数名)で本業務を担っている。予算としては平成21年度まではGP経費を充ててきた。来年度からは大学教育センター経費、あるいは大学共通経費でまかなうことになる。

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託の予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

16. 筑波大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

○実施科目名(生物学)・・・対象学生数(履修学生数384名) 実施時間数(16時間)

○実施科目名(数学)・・・対象学生数(履修学生数650名) 実施時間数(20時間)

※履修学生数は対象の分野により履修者が異なるため科目全体の延べ人数を示す。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

(全学で実施しているリメディアル教育について回答)

位置づけ・・・正規の課程外として位置づけ、単位は授与しない
方針・・・・・・リメディアル教育を強化する方向ではなく、附属の高校との高大連携を強化する
という方向性で、現在は試行として実施している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数

生物学 附属高校等教員 2名

数学 附属高校等教員 4名 ティーチング・アシスタント 1名

予算 約200,000円

(非常勤講師手当、来校旅費、ティーチング・アシスタント経費等)

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託は行っていない。今後行う予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

17. 宇都宮大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

推薦入学者を対象として主に通信教育により添削指導など入学前教育を実施。
実施科目、人数及び回数は次のとおりである。
(実施科目:数学、物理、化学、国語、英語 人数:延べ265名 回数:各科目ごとに1回)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

リメディアル教育は、教育課程外の活動として位置づけ、第二期中期目標・計画においてもその充実を掲げ、実施体制を整備することとしている。
なお、単位認定は行っていない。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数 : 50名(教員48名、事務職員2名)
予 算 : 30千円(郵送料、その他消耗品費)

② 外部委託の現状、今後の予定

現 状 : 外部委託なし
今後の予定 : なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし。

18. 群馬大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

物理学入門、生物学入門、化学入門 : 対象学生98名、実施時間30時間
数学入門、物理学入門 : 対象学生519名、実施時間30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

教養教育科目の学部別科目として「入門科目」を開設している。履修対象学生は高等学校で当該科目を履修していない者、学科で指定する者、及び履修希望者とする。授業担当教員は原則として当該学部の専任教員。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

人数: 授業担当教員9名
予算: 専任教員が他の教養教育科目や専門教育科目と併せて担当しているため、特別の予算措置はしていない。

② 外部委託の現状、今後の予定

正規のカリキュラムのため外部委託の予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

19. 埼玉大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

- ・文系のための数学 :対象学生数 86人、実施時間数1,260時間
- ・物理 :対象学生数 214人、実施時間数1,260時間
- ・理工系のための数学A: 対象学生数144人、実施時間数1,260時間
- ・理工系のための数学B: 対象学生数469人、実施時間数1,350時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

学生の基礎的な学力向上を図るための方策に関する企画・立案を行うために、全学部の教員で組織する基礎教育センターを設置している。本学における学生の基礎的な学力向上を図るための方策として、特に重要な基礎科目である数学、物理について、高等学校において未履修の学生等を対象とし、正課教育外の科目(単位は付与しない。)として実施している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

- ・非常勤講師4名、ティーチングアシスタント4名
- ・予算額 80千円

② 外部委託の現状、今後の予定

- ・非常勤講師等で対応している。
- ・今後も引き続き非常勤講師等に依頼する予定。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

20. 千葉大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

数学・統計学の補習授業	(前期・木曜日・5時限)	30時間	高等学校での科目未履修等による授業不安学生を対象
物理学の補習授業	(前期・木曜日・5時限)	30時間	〃
化学の補習授業	(前期・木曜日・5時限)	30時間	〃
生物学の補習授業	(前期・火曜日・5時限)	30時間	〃

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

位置付け:高等学校での科目未履修者等に対する補習であり、単位を与えるものではない。
 方針:高等学校での未履修科目を補完し、大学での教育不安を取り除くことにより、スムーズな授業運営を図る。
 学部との連携:毎年入学者に対してアンケートを実施し、高等学校で履修した科目、履修しなかった科目の概要を把握するとともに、学内関係委員会等でその状況を報告し、各学部の参考(入試科目の検討、専門カリキュラムの検討)に供している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

本学専任教員 1名
 県内高等学校教員 2名
 グランドフェロー 2名
 平成21年度予算 93千円(グランドフェローへの謝金代として)

② 外部委託の現状、今後の予定

本学の専任教員及び本学グランドフェロー、県内高等学校教員に協力をお願いしているため外部委託していない。
 今後についても、学生の要望があれば、現体制で継続予定。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

21. 東京大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

--

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

22. 東京医科歯科大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

【実施科目】化学、生物、物理
【対象学生数】化学5名程度、生物20名程度、物理70名程度
【実施時間数】各科目30時間程度

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

入試において上記科目を選択しなかったものに対して大学での上記科目に対応できるように基礎知識を習得するための開講科目。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

常勤職員1名、非常勤講師2名、40万円

② 外部委託の現状、今後の予定

3科目中2科目が非常勤講師で対応。
今後の予定についても、現状維持の方向。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

専任担当教員が履修すべき内容を提示し、非常勤講師に依頼。

23. 東京外国語大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

本学では、リメディアル教育を実施していない。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

② 外部委託の現状、今後の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

24. 東京学芸大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

該当なし

(1)実施している科目毎の実施状況

--

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

25. 東京農工大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

- ①推薦入試Ⅰ・Ⅱの合格者
入学前教育として、合格後入学式までの間に数学・物理・化学・日本語の課題(1回50ページ)を課している(外部委託)。
推薦入試Ⅰ:入学者8名、課題3回
推薦入試Ⅱ:入学者57名、課題2回
- ②一般入試の入学者
物理学基礎: 履修者21名、開講時間30時間
化学基礎: 履修者4名、開講時間30時間
生物学基礎: 履修者58名、開講時間30時間
数学基礎: 履修者40名、開講時間30時間
物理学基礎: 履修者30名、開講時間30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

- ①推薦入試など早期合格者には、入学前教育として、外部委託により数学・物理・化学・日本語の課題を課し、リメディアル教育を実施している。
- ②一般入試の新入生に対しては、入学試験で受験しなかった科目を中心に入学者の学力によって、学部・学科の教育方針に合わせて補講教育のための授業科目を設置しているが、原則、卒業要件に加えないものとしている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

- ①事務職員1名、外部委託費120万円
②授業担当教員6名・事務職員2名、特別な予算なし

② 外部委託の現状、今後の予定

- ①入学前のリメディアル教育については、現在、予備校に委託している。今後も継続する予定である。さらにAO入試及び高等学校の新カリキュラムに対応したものの実施については、現在検討中である。
- ②特になし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

- ①数学・物理・化学・日本語の課題について予備校などで作成し、本学の大学教育センター等で内容の確認を行っている。課題の送付、採点などについては、委託している予備校などで実施している。課題の提出者や採点結果については、予備校などから報告を受け、大学教育センターで確認している。

26. 東京芸術大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

該当なし

(1)実施している科目毎の実施状況

--

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

27. 東京工業大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

—

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

—

② 外部委託の現状、今後の予定

—

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

—

28. 東京海洋大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当なし

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし。今後の予定なし。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎に実施状況について実施科目名、対象学生数、実施時間数を記載ください。(概数で可)

科目名	「物理学サプリメント」 「生物学サプリメント」 「英語基礎強化ゼミ」
対象学生数	別紙
実施時間数	半期1コマ (週2時間(90分)×15週=30時間)

(2)リメディアル教育について、貴学におけるリメディアル教育の位置づけ、方針及び各学部との連携に関する考え方について記載ください。

高等学校で履修していない又は修得が不十分であった学生を対象にサプリメントと称する補習授業(全学共通科目)を実施する。科目名は、物理学サプリメント、生物学サプリメント、英語基礎強化ゼミの3科目(各2単位、卒業単位には不可)。運営は、それぞれの学科(理学部物理学科、生物学科、文教育学部言語学科(英語))が行っているが、全学共通科目として開講しており、全学部の学生が受講できるものである。対象は1年次生とし前学期に開講、ただし、英語基礎強化ゼミは、大学での英語の授業に不安がある学生を対象としているため、1年～4年を対象とし前学期に開講する。

「物理学サプリメント」
高校で物理を学習してこなかった学生で、今後の勉学に物理が必要であったり、興味関心があるという学生(高校での物理の学習が不十分だった学生も含む。)のための授業を実施する。「高等学校 物理 I 教科書」を使い問題演習も多く取り入れ、物理学の考え方、現象を数学的に表現する方法など、物理学の基本的な手法に慣れることを目標とする。

「生物学サプリメント」
高等学校の理科で、生物分野を学習しなかった学生を対象として、高校程度の知識の習得と内容の理解を目標とする。ただし、高校の「生物 I・II」全内容を網羅しようとする、少ない時間では知識の羅列になってしまうので、興味をもってもらえる程度の内容の深さをもたせるため、主に生体内の化学反応を中心に扱う。細胞、酵素、呼吸、光合成などを中心にして授業を行い、発生、遺伝、神経、分類などにも簡単に触れる。

「英語基礎強化ゼミ」
大学での英語の授業に不安がある生徒を対象にする。特に英語の文法の基礎に自信がなくもう一度復習をしてみたいと思っている人を対象とする。参加者の理解度や要望にあわせた柔軟な授業を目指している。文法や基本的な語彙の総復習を行うと同時に英語の学習方法を行う。

(3)業務の実施体制について、以下の内容を記載ください。

①本業務に従事している職員の人数及び予算
本学附属高等学校教諭が非常勤講師として各1名従事している。
ただし、英語基礎強化ゼミは、語学(英語)の専任教員又は非常勤講師が1名従事する。
予算(概算)は、250,000円(年)程度。
1時間単価2,500円×30時間(週2時間(90分)×15週)×3人

②現状、本業務についてはどの程度外部委託しているか、また、今後の外部委託予定について
大学の授業であり、非常勤講師として雇用するということはあるが、外部委託ということはない。今後も外部委託の予定はない。

③外部委託している場合は、具体的な内容について
外部委託していない。

30. 電気通信大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名: 「数学補習授業」(通年・2コマ)
対象学生数: 履修者数 16名
実施時間数: 60時間×2コマ=120時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学の学部授業を履修していくために必要と思われる基礎的学習を受けていない学生を対象に、数学において開設している。
入学前に数学Ⅲを履修していない学生及び希望者対象とする。成績及び単位は付与しない。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数: 非常勤講師 2人
予算: 715,000円

② 外部委託の現状、今後の予定

学部の授業を履修していくうえで必要不可欠な基礎的学習であり、大学教育と関連付けた教育を行っていることから、外部委託は行っていない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

31. 一橋大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

入試によって必要な学力を備えた優秀な学生が確保できているので、リメディアル教育は必要ない

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

32. 横浜国立大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

リメディアル教育は実施していない

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

リメディアル教育は実施していない

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

33. 新潟大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

【経済学部, 工学部, 農学部で実施】
※対象学生数は, いずれも平成21年度実績

(経済学部)

・「数学入門」69名履修, 30時間実施

(工学部)

・「リメディアル演習(機械数理)」20名履修, 30時間実施
・「リメディアル演習(電気数学)」25名履修, 30時間実施
・「リメディアル演習(化学システム工学)」9名履修, 30時間実施
・「リメディアル演習(建設数学)」12名履修, 30時間実施
・「数理基礎演習(機能材料の数理)」10名履修, 15時間実施

(農学部)

・「英語」7名履修, 30時間実施
・「化学」5名履修, 30時間実施

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

単なる高等学校課程の補習教育ではなく, 本学の正規授業にスムーズに入れるための基礎習得として必要な科目として位置付けている。
よって, 単一的なプログラムではなく, 各学部, 学科に最も適した授業内容となるよう各科目ごとに工夫が必要となっている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

【職員の人数】

(経済学部)

・「経済数学」: 学部専任教員1名

(工学部)

・「リメディアル演習(機械数理)」: 学科専任教員5名
・「リメディアル演習(電気数学)」: 学科専任教員2名
・「リメディアル演習(化学システム工学)」: 学科専任教員4名
・「リメディアル演習(建設数学)」: 学科専任教員20名
・「数理基礎演習(機能材料の数理)」: 学科専任教員1名

(農学部)

・「英語」: 学部専任教員1名
・「化学」: 学部専任教員1名

【予算】

上記(2)のとおり, 本学の正規授業と密接な関係があり, 本学の専任教員が本務として授業を担当しているため, 特別な予算は配分していない。

よって, リメディアル教育を担当している教員は, 通常の教育・研究も実施していることから, 人件費の内訳を算出することは困難であり, 予算額の算出はできません。

② 外部委託の現状、今後の予定

前述のとおり、単一的なプログラムではなく、各学部、学科に最も適した授業内容となるよう各科目ごとに工夫が必要であり、そのためには、本学の専任教員が実施するのが最も最適と考えられるため、現在のところ外部委託の予定はありません。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし。

34. 長岡技術科学大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

	実施科目	対象学生数	実施時間数	(平成21年度実績)
入学前	数学	30人	18時間	
〃	英語	30人	18時間	
入学後	数学	29人	30時間	
〃	英語	9人	45時間	
〃	物理	21人	12時間	
〃	化学	12人	18時間	

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

1. 高校と大学のカリキュラムの整合性補完
高校等での科目未履修から生じた、授業に必要な知識等の不足を補完
2. 大学で実施される授業の理解度アップ
授業の理解のボトムアップを図り、理解度不足を解消。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

入学前予算 1,058千円(外部講師、教材)
入学後予算 1,520千円(外部講師、教材)
入学後の担当専任教員:3名

② 外部委託の現状、今後の予定

入学前は、第1学年の推薦入試合格者に対し、予備校に委託して3か月間実施。
入学後は、学内において、専任教員3名及び外部講師4名で実施。
当該業務における外部委託の今後の予定については、現状での教育効果をもとに検討中である。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

入学前は、DVDによる講義、テキストによる学習及び試験による学力確認を実施。
入学後は、専任教員3名(英語1名、物理1名、化学1名)及び高校教育を専門とする外部講師4名(数学1名、英語2名、化学1名)を雇用して実施。

35. 上越教育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施していません。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当なし

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

今後の予定はありません。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

36. 富山大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

経済学部
実施科目名：数学及び英語
対象学生数：AO入試及び推薦入試合格者のうち希望者(数学:39名, 英語75名)
実施時間数：英語については, 開講時間が1年間(外部委託) 数学については, 標準学習時間が1週間
工学部
実施科目名：工学特論(数学入門), "(化学), "(物理)
対象学生数：工学特論(数学入門)86名, "(化学)48名, "(物理)70名
実施時間数：工学特論(数学入門)15時間, "(化学)15時間, "(物理)15時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学のリメディアル教育は, 専門教育に必要な基礎学力を固め, 学習を円滑に行えるよう誘導するという位置づけで学部が独自に実施しているのが現状です。学部ごとに, 高等学校での履修状況に応じて対応したり, 専門高校等から入学の学生を対象として基礎学力を身につけさせるため実施されております。学部間で連携できる科目から, 順次連携すべきであると考えております。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

経済学部
職員の人数：経済学部教員2名
予算：学長裁量経費の予算内で実施(約450,000円)
工学部
各科目1教員(計3名), 3名とも非常勤講師のため非常勤講師に係る経費

② 外部委託の現状、今後の予定

経済学部
英語については, (株)アルク教育社にH21.1~H21.12まで委託。 平成22年度は, 数学のみ実施し, 英語については, 中止のため, 外部委託も実施しない。 なお, 23年度以降については, 未定。
工学部
3科目とも非常勤講師に授業を依頼(専任教員による担当を検討中)

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

経済学部
(株)アルク教育社に, 携帯電話を利用した学習システム「モバイルアカデミー」のサービスを委託し, 実施(平成22年度は中止)。
工学部
3科目とも非常勤講師に授業を依頼

37. 金沢大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

数学 31人, 物理学 27人, 英語 18人, 化学 5人, 生物学 2人, 地学 2人
郵便により課題の提出等を行っている。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

推薦入試, AO入試合格者に対して, 入学後の学習において前提となる分野の修得を目指し, 入学前に実施している。また, AO入試の入学前教育については, AO入試室の下, 外国語教育研究センターの教員にも協力願い, 実施している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

約10名, 約9万円

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託はしていない。今後の予定もなし。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

38. 福井大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名:①数学ステップアップ, ②英語ステップアップ, ③物理ステップアップ,
対象学生数(履修者数):①158名, ②134名, ③26名
実施時間数:①150h, ②120h, ③30h

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学工学部において、多様な学習履歴を持った新入生のための補習授業を実施している。入学初年次に履修する専門基礎科目の習得でのつまずきが、その後の修学の回復を困難にすることが知られている。工学部では、入学時に全入学生に対して、数学と英語のプレースメントテストを行い、その成績に基づいて数学(線形代数・微分積分)の習熟度別クラス編成を実施すると共に、約20%の学生(約100名)に高校の補習授業を義務付けている。物理に関しては希望者を募り、履修を希望する者が履修している。ただし、補習授業は単位化せず、正規の科目の予習・復習時間の一部であると位置付けている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数 : 3名(常勤職員及び非常勤講師)
予算 : 1,650千円

② 外部委託の現状、今後の予定

以前外部委託をしたところ、教育の質が低かったため、本学教員や高校の退職教員を雇用し業務を実施している。今後も外部委託よりも低廉で質の高い現行体制でのリメディアル教育を実施することとしている。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし。

39. 山梨大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

教科:数学 対象者:推薦入試で合格した専門高校・総合学科の学生(入学前教育) 受講者数:28人(平成21年度実績) 時期:1月から3月 方法:e-ラーニングを用いた教育
教科:全学共通教育課目 基礎科目(数学) 受講者数:合計285人(平成21年度実績) 時期・開講コマ数:前期 4コマ・後期 2コマ 時間数:各30時間
教科:全学共通教育課目 基礎科目(物理) 受講者数:227名(平成21年度実績) 時期・開講コマ数:前期 3コマ・後期 2コマ 時間数:各30時間
教科:全学共通教育課目 基礎科目(化学) 人数:7人(平成21年実績) 時期・開講コマ数:前期 1コマ 時間数:30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

【e-ラーニングを用いた数学】 ・専門高校・総合学科の学生に、大学入学後に必要となる数学の基本を勉強し、入学までに数学の基礎を十分に固めてもらうために実施している。 【基礎科目】 ・高等学校等で、数学、物理、化学の各科目について未履修の学生や修学不足の学生を対象に高校の教科書レベルの講義を実施している。 (大学教育を受けるにあたり、不足している基礎学力を補うため)

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

11名、予算なし

2
か
ら
4

10名、予算なし

② 外部委託の現状、今後の予定

予定なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

なし

40. 信州大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

《全学教育機構》

- ・「微分積分学Ⅰ」のための接続教育
- ・対象学生数 116名 「微分積分学Ⅰ」が必修の工・農・繊維学部生を中心に、同科目の最初の授業で実施される高校数学Ⅲを中心としたテスト結果により、受講を勧められた者を対象とする。
- ・実施時間数60H

《全学教育機構》

- ・「大学英語基礎トレーニング」
- ・対象学生数12名 全学部生の内、受講を希望する者を対象とする。
- ・実施時間数30時間

《経済学部》

科目:国語, 数学, 英語

対象学生数:48名

実施時間数:課題のレポート提出という実施形態をとっているため、時間数の計上は、できない。(数学のみ、1時間の小テストを実施している。)

《工学部》

【実施科目名】

数学:未履修科目より重要部分にて実施 [数学B(数列, ベクトル), C(行列, 写像), III(微分・積分)]

物理:物理IおよびIIが繋がった体系的な構成で力学と電磁気力学を中心に実施

【対象学生数】20~30名

【実施時間数】70時間

《繊維学部》

・基礎物理 対象人数:100名 実施時間数:15時間

・基礎化学 対象人数:100名 実施時間数:15時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

- ・学力不足を補う高校の補完教育として位置づけている。
- ・リメディアル教育の実施方法等については、部局ごとに決定している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

《全学教育機構》
・「微分積分学Ⅰ」のための接続教育：特任教授1名
・「大学英語基礎トレーニング」：非常勤講師1名

《経済学部》
・人数：5名

《工学部》
・講師2名、事務職員1名

《繊維学部》
・退職した教員2名

② 外部委託の現状、今後の予定

《工学部》
・講師を外部委託している。

《繊維学部》
・外部(退職した教員)の教員に依頼している。
・来年度については、予備校講師に依頼する予定である。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

《工学部》
・講座全時間の講師として、2名(数学1名、物理1名)を予備校の講師に委託している。

《繊維学部》
・外部(退職した教員)の教員に依頼している。

41. 岐阜大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

- (数学系初歩)
 - ・微積分・・・定員40名。30時間。
- (理科系初歩)
 - ・物理学入門・・・定員60名。30時間。
 - ・初歩物理・・・定員30名。30時間。
 - ・天文学・・・定員150名。30時間。
 - ・現代生物学・・・定員100名。30時間。
 - ・地学・・・定員100名。30時間。
- (その他・・・一部理系学部において、入学予定者に実施)
 - ・化学(定員なし。15時間。)
 - ・生物(定員なし。15時間。)
 - ・英語(定員なし。15時間。)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

高等学校で数学及び理科科目の内、特定の科目を履修してこなかった学生及び履修していても身に付いていない学生を対象に、補充教育を実施している。
また、一部の理系学部においては、入学予定者(主に推薦入試で合格した者)の中から希望者に、学期が始まる前の補充教育を実施している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

- 常勤教育職員8名・・・教養科目の授業として常勤教育職員により開講しているため、特に予算化していない。
- 非常勤講師3名・・・人件費、諸雑費含めて70万円。

② 外部委託の現状、今後の予定

本学の常勤教員で対応できないものについては、非常勤講師を雇用している。今後も同様の予定。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

授業の実施。

42. 静岡大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

(実施科目名、対象学生数、実施時間数)

数学、200名、30時間

英語、200名、30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

位置付け(実施理由)としては、「入学者の学力低下」対策であり、情報学部のみで実施しているため、各学部等との連携はない。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

非常勤講師 2名

予算 318,000円

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託は行っていない。なお、入学前準備教育講座として、入学予定者に対して各学部の必要科目に係る通信教材を紹介をして、自学自習を勧めている。
今後、外部委託を行う予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

43. 浜松医科大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

自然科学入門、1年次生全員 95名、30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

- ・多様な入試を実施している現在、リメディアル教育は必要である。
- ・正規授業時間外に補講を行うのが望ましい。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

- ・非常勤講師 2名
- ・312,000円(10,400円×15コマ×2名)

② 外部委託の現状、今後の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

44. 名古屋大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学では、現在は、リメディアル教育を実施する必要性を格別感じていないため、授業科目としては実施していないが、学生の自主学習を支援するため、e-learningによる自習用のリメディアル教材を提供している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

45. 愛知教育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施していない。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

同教育の導入に関して、検討の予定はない。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

46. 名古屋工業大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

数学・物理・化学
推薦入試(センター試験課さず)・AO入試(工学創成プログラム)入学予定者を対象に高等学校課程用テキストによる自習・添削方式により実施。
数学
第二部・AO入試(建築・デザイン工学科)入学予定者を対象に補習講義を実施。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

●推薦・AO入試・第二部入学予定者の合格発表から入学までの学習習慣を維持するとともに、入学後の学習に必要となる高等学校理系コースの知識を身につけさせ、大学で教育を受けるにあたって支障を生じないようにするため。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数 教員(兼任) 1名、非常勤講師 3名(延べ数)
予算600千円

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託については、現状、今後の予定ともなし。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

47. 豊橋技術科学大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

平成21年度は実施していない。平成22年度から実施する予定。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

入学試験で物理・化学を受験科目から除いたので、高校で物理・化学を未履修の学生が入学するようになった。
このため、リメディアル教育が重要との認識になっている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

特に別途予算を計上していない。

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託の予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

48. 三重大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について → 本学は該当ありません。

(1)実施している科目毎の実施状況

--

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

49. 滋賀大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施していない

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当なし

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

50. 滋賀医科大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

「自然科学入門」
医学科第1学年(前期) 入学時センター試験において「物理」、「化学」、「生物」のいずれかの科目を選択しなかった学生に対し履修させている。
97名
30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

自然科学としての医学は、物理学・化学・生物学などに立脚する総合的な学問であることから、生命科学の基礎として基礎学課程において同3科目を教授している。しかしながら、近年、大学入学試験との関係で、3科目の一部を履修しない学生がいて、基礎学教育上の問題の一つとなっている。これでは基礎医学はもとより、将来臨床医学に進むときに学力が追いつかないため、教育効果の向上を図る目的で、それぞれの科目ごとに開講している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

教授3、准教授1

② 外部委託の現状、今後の予定

本学には専任の教員が在職しているため、外部委託は検討していない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

51. 京都大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

純粋な意味での高等学校の補習教育は実施していないが、全学共通科目には、高校での当該分野未履修者を対象とすることをシラバスに明記し、大学での教育内容を加味した授業を行っている科目があり、以下にその一例を挙げる。

物理学…「初修物理学A・B」…理系向。物理未履修者対象。

生物学…「基礎生物学A・B」…全学向。生物未履修者対象。

「生命科学概論A・B」…全学向。生物未履修者対象。

以上は理系学部の専門基礎となることを前提とした科目であるが、文系向・全学向に開講している自然科学系科目の多くは、高校での理系科目の未履修者を対象として開講している。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

近年学生の学力低下・高校での未履修が問題視されてきており、リメディアル教育についての意見が様々な議論の場で提示されることがあるが、カリキュラムとして体系化するまでには至っていない。

上記に挙げたとおり、各科目担当教員の努力により、個別に対応しているというのが実情である。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

純粋なリメディアル教育に関しては、なし。

② 外部委託の現状、今後の予定

なし。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

52. 京都教育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

入学前
補習的内容の課題を与え、答案の添削を実施する。(英語:3回、数学3回)
入学後
補習授業を実施する。(英語:60時間、数学:60時間)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

専門高校出身者に対して、「英語」及び「数学」について、高等学校で履修していない教育内容の補習的内容のレベルで、正規の授業科目外の扱いとしている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

外部委託業者との指導内容などの調整:常勤大学教員 1名
外部委託業者との事務調整:常勤事務職員 1名
予算:810,000円(平成21年度)

② 外部委託の現状、今後の予定

予備校と指導内容などの調整を行い、その内容に沿って指導を委託している。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

入学前
補習的内容の課題作成と添削の実施。(英語:3回、数学3回)
入学後
補習授業の実施と補習授業で使用する教材作成。(英語:60時間、数学:60時間)

53. 京都工業繊維大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

本学で実施しているリメディアル教育は、次のとおりである。

①入学前教育

実施科目名:英語、数学、物理、国語

対象学生数:AO入試の入学予定者62名、
社会人特別選抜の入学予定者8名 合計70名(平成21年度実績)

実施時間数:入学までの3ヶ月間

※月1回の割合で、課題への回答、添削指導(通信教育方式)を実施。

②入学後の補修授業

実施科目名:数学

対象学生数:夜間主コースの学生12名(平成19年度実績)

※平成20、21年度は希望者なし

実施時間数:1日3時間×15週=45時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

- ・AO入試等の合格者に対する学習意欲を継続させるものとして
- ・高等教育へのスムーズな移行を図るための準備学習として
- ・学習到達度だけでなく、生徒から学生への意識転換を図るものとして
- ・高校までの不足分を補習するものとして

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

①入学前教育

業務従事者数:教員2名(アドミッションセンター教授1、准教授1)

当該業務に係る従事者の人件費相当額:2,000千円

②入学後の補修授業

業務従事者数:0名(受講希望者があれば名誉教授等に依頼しているため)

当該業務に係る従事者の人件費相当額:0千円(ボランティアであるため)

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託業務の現状は、③のとおりである。
「入学前教育」については、入学予定者の学習意欲の維持等を目的としたものであり、課題等の添削や学習・生活指導等を元高校教師に依頼している。また、「入学後の補修授業」については、受講希望者があれば、本学の名誉教授等がボランティアで実施しており、今後も外部委託による業務の実施を予定している。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

- ①入学前教育
添削(採点)業務や学習・生活指導等
- ②入学後の補修授業
数学Ⅲの内容を中心とした講義や演習の指導等

54. 大阪大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

科目名： 生物学入門(全学共通教育科目(専門基礎教育科目))
対象学生数： 76名(平成21年度実績)
実施時間数： 30時間(4～5月に週3回集中講義形式で実施)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

学生への教育上の支援の一環として、今後本格的な実施を検討することも考えられるが、現状では、具体的な方針等は検討していない。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

リメディアル教育については、現状ではそれだけのために職員や予算は設けていない。

② 外部委託の現状、今後の予定

なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

55. 大阪教育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

数学 4名 30時間
物理 4名 30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

技術教育専攻に推薦入試で入学した学生に対して行っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

1名 218千円

② 外部委託の現状、今後の予定

外部講師を招聘して対応している。今後も同様と考えられる。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

内容は、物理・数学の補習授業(レベルは当該年度の学生の実力により柔軟に対応)、入学初期のスクリーニング試験・採点、課題の出題や採点などを委託している。

56. 兵庫教育大学

2. リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

57. 神戸大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

本学では該当ありません。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学では該当ありません。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

本学では該当ありません。

② 外部委託の現状、今後の予定

本学では該当ありません。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

本学では該当ありません。

58. 奈良教育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

リメディアル教育は、実施していない。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

リメディアル教育と位置づけて授業科目を開設していないが、授業科目によっては、教員が学生の学カレベルを確認し、知識が不足している学生には、課題を課すなどにより、対応している。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

59. 奈良女子大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

大学として統一的な位置づけ, 方針等は定めていない

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

なし

② 外部委託の現状、今後の予定

なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

なし

60. 和歌山大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

【実施科目名】基礎物理学
【対象学生数】受講者:約60人
【実施時間数】講義時間:30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

専門科目を学ぶ上で必要な内容の補完を行い、専門科目の履修効果を上げる。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

【従事している職員の人数】非常勤講師1名(講義担当者)
【予算額】160千円(非常勤講師手当及び旅費交通費)

② 外部委託の現状、今後の予定

【外部委託の現状】
外部委託はしていない
【今後の予定】
現在のところ予定はない

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

61. 鳥取大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

英語：80名、75時間	数学：40名、30-95時間
日本語：80名、30時間	物理：30名、30-80時間
化学：15名、25時間	生物：30名、20時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

AO入試、推薦入試I(大学入試センター試験を課さない入試)の入学者に対し、合格後から入学前の期間での学習習慣の継続を目的としてe-learningを実施している。
また、高校の履修履歴が異なるため、大学で授業を受ける際に、必要な内容について補うために行っている。
学部の教員が学習履歴を把握し、学生へ指導を行っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

教職員数：10名
リメディアル教育のための予算としては0円

② 外部委託の現状、今後の予定

すべて外注であり、今後も外注する予定である。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

e-learningのコンテンツ作成、サーバ管理、受講生がアクセスに対する支援など、すべての部分。(e-learningの利用料は、受講生の自己負担である。本学教員は、受講生のアクセス状況の把握、受験生への連絡のみを対応している。)

62. 島根大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

物理(1クラス13回:当初登録者数91名)
化学(1クラス13回:当初登録者数53名)
数学(レベル別3クラス11回:当初登録者数130名)
事前に試験を行い,その得点によりクラス分けを実施。学生数名に対しTA1人を配置し
個別指導も対応
英語(2クラス13回:当初登録者数47名)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

正課外科目として実施。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

<担当職員>
教育開発センター 2名 学部教員 4名
事務担当 1名
<予算>
嘱託講師・TAを含め250万円(謝金・教科書購入費等)

② 外部委託の現状、今後の予定

<平成21年度実績>	<平成22年度予定>
物理 嘱託講師 1名	物理 嘱託講師 2名
化学 嘱託講師 1名	化学 嘱託講師 2名
数学 嘱託講師 3名	数学 嘱託講師 3名
英語 嘱託講師 2名	英語 嘱託講師 2名

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

<物理・化学・数学>
島根大学名誉教授を嘱託講師として任用
(大学で物理・化学・数学・を学ぶ際に必要なスキル, 専門教育へつながる学習内容を熟知)
<英語>
外国語教育センターで英語を担当している特別嘱託講師

63. 岡山大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

科目名	開講科目数	学生数の合計
初等物理学	2科目	70名
初等化学	2科目	14名
初等生物学	4科目	147名
初等数学	2科目	26名

時間数は、全て1科目30時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

高等学校教育と大学教育の円滑な接続を図ることを目的として実施しています。

(3)業務の実施体制

① 本業務に従事している職員の人数、予算

人数： 8名(非常勤講師)
予算： 1,500,000円(非常勤講師人件費)

② 外部委託の現状、今後の予定

現在は非常勤講師を任用して当該授業を行っています。
今後も現在の対応を継続する予定です。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

64. 広島大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

数学, 47人(平成21年度実績), 42時間
物理, 201人(平成21年度実績), 52時間×2
生物, 253人(平成21年度実績), 60時間×2

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学ではリメディアル教育を補充教育と称している。
高等学校卒業までの授業科目において、各学部の教育プログラムが既修得要件とするもののうち、未履修の科目がある場合に対応して、当該科目内容を大学において補充する目的で実施する教育。
各学部の教育プログラムまたは各学部の教育プログラムに属する授業科目が既修得要件を課すことによって、補充教育科目の履修対象となる学生を指定する。
補充教育として提供される授業科目の内容は高等学校レベルとなるため、本授業科目履修によって授業単位が与えられることはない。
補充教育科目は、全入学生に対応するものであるから、全学対応の授業科目と位置づけられる。
各学部との連携としては、本部から各学部へ所属学生の出欠状況を報告しており、場合によっては指導を行ってもらっている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

数学、物理、生物それぞれ各1名、合計3名の講師、各講師との連絡調整に定員内職員2名が対応している。講師の謝金等の予算として130万円余りを要している。

② 外部委託の現状、今後の予定

担当講師については、高等学校教員を退職した方を非常勤講師として外部委託しており、その他については外部委託はしていない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

各担当講師に授業の実施、小テストの実施・採点、出欠状況の報告を委託している。

65. 山口大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

プレースメントテスト:

工学部の全新生に対して、数学(専門教育で必要となる高校までの数学)のプレースメントテスト(90分)を実施している。

このテストの結果に基づき、数学の学力不足と判定した学生に対しては高等学校までの数学を復習させるクラスの履修を義務付けている。

放送大学関係:高校学校での未履修者を対象に、放送大学の教材や試験を利用して学習できる環境を整えている。

- ・「物理学」(初歩からの物理学) 36名対象 30時間(15回)
- ・「生物学」(初歩からの生物学) 9名対象 30時間(15回)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

以前は、リメディアル教育は大学教育そのものには入らないという考え方から、卒業要件単位に含まれない「入門科目」を理系基礎科目に設置したが、現在は廃止されている。ただし、プレースメントテストを実施している数学は、一定水準以下の習熟度の学生に対して、授業時間を2倍にしている点で、入門科目の考え方が生きている。理科に関しては、高等学校で履修していない学生にも配慮した授業内容とすることで対応している。また、これらの理系基礎科目については、学習相談支援室を設置して、教員や院生が相談に応じ、授業外学習の質を高めている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

【人数】

プレースメントテスト 人数:17名
放送大学 人数:11名(教員9名+事務職員2名)

【予算】

リメディアル教育として予算措置していない。従って、予算を区分することは困難であるが、主なものとして

(運営費交付金)

①プレースメントテスト	14,160円
②放送大学	247,500円
計	261,660円
(放送大学委託授業)	
①放送大学	247,500円
合計	509,160円

② 外部委託の現状、今後の予定

プレースメントテスト:現在のところ、外部委託はしていない。今後は未定。放送大学関係:放送大学との単位互換協定に基づき、放送大学の教材や試験を利用している。ただし授業実施及び事務については本学教員及び事務職員にて行っている。平成22年度においてはリメディアル教育としての放送大学利用予定はなく、物理学について本学の授業科目に入門科目を開設予定。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

66. 徳島大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

高大接続科目		
(1) 実施科目名:数学	対象学生数:62人	実施時間数:30時間(2単位)
(2) 実施科目名:物理学	対象学生数:57人	実施時間数:30時間(2単位)
(3) 実施科目名:化学	対象学生数:24人	実施時間数:30時間(2単位)
(4) 実施科目名:生物学	対象学生数:32人	実施時間数:30時間(2単位)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学の学部構成は、応用的な自然科学領域(医、歯、薬、工学)の学部が多数を占めているため、理数系教科の基礎学力は、大学全体としても入学後の学習に多大な影響を及ぼす。したがって、リメディアル教育は、教養教育、特に専門教育を支える基礎科目の理解を左右するという点で、重要な位置づけにある。しかし、人的・予算的制約から充分行えないのが現状である。従来高大接続科目として本学では行ってきたが、大学本来の授業の一環とするため、リメディアル教育から、(大学)自然科学入門科目に、シフトを試みている。現在の高大接続科目の運用方針については、各学部学科の専門分野に応じて、その意向を尊重しながら全学共通教育センターの責任において実施している。また学部との連携は、全学共通教育センター運営委員会および大学教育委員会等の機関において、審議し、方策を決定することにより図られている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の数:教員 4人
予算:なし

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託の現状:なし
今後の予定:なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

67. 鳴門教育大学

2 リメディアル教育（高等学校課程の補習教育に限る）について

(1) 実施している科目毎の実施状況

○数学 学部授業で実施
「基礎数学Ⅰ」, 対象学年1年次113人, 30時間
「基礎数学Ⅱ」, 対象学年1年次113人, 30時間
○理科 学部授業で実施
「物理学の基礎」, 対象学年1年次113人, 15時間
「化学の基礎」, 対象学年1年次113人, 15時間
「生物学の基礎」, 対象学年1年次113人, 15時間
「地学の基礎」, 対象学年1年次113人, 15時間

(2) リメディアル教育の位置づけ等について

現在, 学部の正規授業として提供している。受講は学生の自由となっている。

(3) 業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数, 予算

○数学「基礎数学Ⅰ」「基礎数学Ⅱ」
専任教員2人
○理科「物理学の基礎」「化学の基礎」「生物学の基礎」「地学の基礎」
専任教員5人
本学教員が授業を行っているため, 現在, 予算措置はしていない。

② 外部委託の現状, 今後の予定

外部委託の予定はなし。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

68. 香川大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

○基礎アシストクラス I・II
工学部・材料創造工学科において、物理・数学の補習的授業を行っている
受講生は、当該学科の新生全員(約60名程度)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

専門科目を履修する際の補完的役目

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

- 1 員数
非常勤講師 1名
- 2 予算
300,000円(単価5,000円×60H)

② 外部委託の現状、今後の予定

現在、非常勤講師に依頼し実施しており、今後も実施継続の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

【委託業務】
工学部専門教育教授の前段階としての物理・数学の補習的授業の実施

【委託内容】
非常勤講師 1名 30万円/年

69. 愛媛大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名: 共通教育科目「数理と論理の世界」(授業題目「初級微積分」)
対象学生数: 206人
実施時間数: 前学期5クラス開講(1クラス: 90分/週)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本リメディアル科目は、1年次前学期に開講される共通教育理系基礎科目(数学: 微積分 I 等)への補完教育として位置付けられている。
対象学部は、理学部、工学部、農学部、教育学部の一部及びスーパーサイエンス特別コースであり、また受講対象者は、入学直後に実施するプレースメント・テストの結果により、数学の基礎力が低いと判断された者である。
教員間及び共通教育センターとの連携を保ち、またプレースメント・テストの実施・採点には数学以外の教員も参加することで業務負担の分散化を図っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務を実施している職員の人数、予算

授業担当教員: 専任教員1人、非常勤講師2人
21年度予算: 83万5千円(非常勤講師予算45万円、TA予算38万5千円)

② 外部委託の現状、今後の予定

5クラス中、3クラスの授業担当を2人の非常勤講師に依頼している。
今後も同程度のクラス数を非常勤講師に依頼する見込みである。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

授業の実施、試験の実施、成績評価等。

70. 高知大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

実施科目名	対象学生数(H21)	実施時間数(実時間)
微分、積分学の基礎	56	45
物理学の基礎	21	45
化学の基礎	56	45
生物学の基礎	55	45
地球科学の基礎	24	45
大学英語入門S	20	90

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

入試方法の多様化に伴い、高等学校で理数系科目を履修していない学生が入学しており、その学生に対して、学部専門教育の授業に望む前に1年間のフォローアップ授業として開講している。特に理学部・農学部に入学者に対して、学部の履修説明会などで「〇〇学の基礎」の履修を推奨している。

「大学英語入門S」については、必修科目である「大学英語入門」において、プレースメントテストによる習熟度別クラス編成を行っており、テストの結果、平均的な学生の英語レベルより劣ると自身が判断した学生が履修している。通常の「大学英語入門」が半期開講に対し、「大学英語入門S」は通年開講で時間数が2倍となっている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

11名、900,000円(H21年度)

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託ではなく、常勤教員(6名)と非常勤講師(5名)により対応している。
今のところ、外部委託の予定はない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

71. 福岡教育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当ありません。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当ありません。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当ありません。

② 外部委託の現状、今後の予定

業務の外部委託については、現在、実施しておらず、今後も予定していません。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当ありません。

72. 九州大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

農学部において、次の科目を実施している。

- ・生物学基礎概要(2単位)平成21年度受講者(119名)平成19年度から開講
内容:高校時代に生物を選択していなかった学生を対象に生物学の基礎について講義する。
- ・物理学基礎概要(2単位)平成21年度受講者(126名)平成19年度から開講
内容:高校時代に生物を選択していなかった学生を対象に物理学の基礎について講義する。

また、全学教育科目(教養課程)において、高等学校理科で物理学を履修していない学生への配慮として、正課教育の「力学基礎」「電磁気学」で未履修クラスを設置し、授業を実施している。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

正課教育の一環としての教育に位置づけている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

人数:学外非常勤講師3名、ティーチングアシスタント4名(農学部)
予算:運営費交付金

② 外部委託の現状、今後の予定

学外非常勤講師に講師を委嘱している。
本学においては、学士課程全体で学生に十分な教育成果をもたらすようにするといった観点から、リメディアル教育についても、一貫したカリキュラムの中に専門教育の基礎的な科目として位置づけているものであり、切り離して実施することは教育成果の観点から適切ではないことから、担当教員(学外非常勤講師含む)が担うべきと判断している。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

なし

73. 九州工業大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

(1)推薦入学合格者を対象に数学・物理・化学の補習課題を行っている。
科目:数学・物理・化学 対象学生数:100名 実施時間:課題取り組み期間約1ヶ月
(2)工学部に設置した学習支援室において高校数学の個別指導を行っている。
科目:数学 対象学生数:530名 実施時間:週4時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

学習到達度の低い学生への学習支援を行い、学士力と工学教育の向上を図る。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

学習支援室(専門教育も含む):1名 2,908千円
推薦入学合格者への補習課題:外部委託 1,150千円

② 外部委託の現状、今後の予定

推薦入学合格者への補習課題については外部委託を行っている。
来年度以降については今後検討を行う。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

数学・物理・化学の家庭学習用課題および提出用課題の作成及び採点を委託している。

73. 九州工業大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

- (1) 推薦入試合格者を対象に研修会を行っている。
 (2) 入学後リメディアル教育を行っている。
 ・解析リメディアル(31名・週1コマ×15週)
 ・初等物理補習(76名・週1コマ×15週)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

- (1) 推薦入試合格者研修会の位置づけ
 a) 本学で学ぶための基礎学力(数学, 物理, 英語)を入学前に身に付けさせる。
 b) 入学まで継続して学習する機会を提供する。
 c) 本学へ入学する意識を高め, 学習の目的と動機を得させる。
 (2) 入学後リメディアル
 一般入試合格者も含めた全学生に対する高等学校レベルの基礎学力の向上,
 平成21年度は, 数学, 物理で1年次前期に, 週1コマ(90分)の講義を実施。
 一部, eラーニングも可能。希望者に受講させる。

(3)業務の実施体制

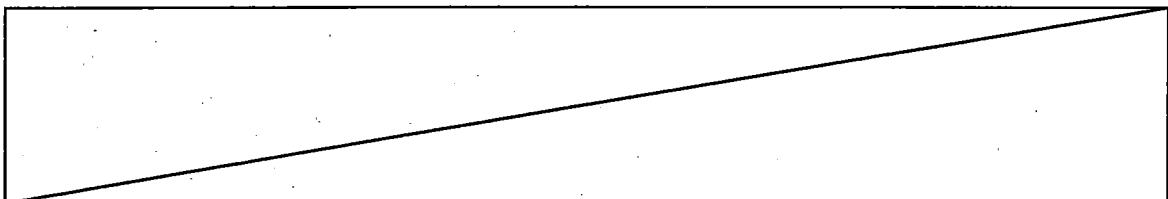
① 本業務に実施している職員の人数、予算

- (1) 合格者研修会
 学部教員: 6名, 講師: 数学, 物理, 英語で各2名ずつ, 助教1名, 事務担当1名
 (2) 入学後リメディアル
 数学, 物理で, 講師1名ずつ
 予算: 平成20年度, 21年度ともに460万(ただし, 恒常的な人件費は除く。)

② 外部委託の現状、今後の予定

現在は、外部委託はしていない。
 入学後の修学に必要な教育をきめ細かく行い、また、教員や他の入学(予定)者等とのコミュニケーションを計るなど学生のメンタルヘルスの観点上、本学の教員等がリメディアル教育を担当する方が、外部委託より効果的・効率的な運用が行えるため、現時点では外部委託は積極的に検討していない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容



74. 佐賀大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

75. 長崎大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

正課の授業科目としては行っていないが、単位にならない補習科目として次の講習を行っている。

(平成21年度実績数等)

物理:55名(週1回)前期及び後期で実施・計30回(対象学生は工学部・水産学部合同授業)

英語:11名(週1回)前期及び後期で実施・計30回(対象学生は水産学部)

化学:22名(週1回)前期及び後期で実施・計30回(対象学生は工学部・水産学部合同授業)

数学:約100名(週1回)前期及び後期で実施・計30回(対象学生は経済学部・工学部・水産学部で学部毎に実施。経済学部は前期のみ15回実施)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

物理、化学、英語、数学について、職業高校からの入学者及び希望者に対して、教養教育における授業内容の理解と容易な単位取得及び専門教育のための基礎学力の養成と円滑な導入を目的としている。

単位の認定は行わないが学習効果が十分に上がるよう、かつ過度な負担増にならないように配慮した時間割で構成している。

このうち、数学以外の科目は工学部と水産学部で共同して授業を行っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

講義担当教員 6名(うち非常勤講師 5名)

予算 1,614千円

講義の内容や対象学生の選考、実施時期等、すべて学内で企画・実行している。

② 外部委託の現状、今後の予定

外部委託は行っていない。また、今後の予定もない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

76. 熊本大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

物理	工学部(1コマ:20h)	60人
化学	工学部(1コマ:20h)	25人
数学	工学部(前期6コマ:180h、後期2コマ:60h)	35人

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学ではアドミッションポリシーに基づき、大学教育を受けるに足る能力・適正を見極めた上で学生を受け入れるよう努めているが、必ずしもそうなっていない状況もあり、受け入れた学生に対する大学の責任として、各学部が必要に応じて行っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

教員 8人
非常勤講師 4人 (経費 371,000円)

② 外部委託の現状、今後の予定

現状:実施科目の一部を非常勤講師で対応している。
今後の外部委託の予定:入学者の動向を見た上で対応することとしており現時点では未定。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

物理 1人(1コマ:20h)
化学 1人(1コマ:20h)
数学 2人(1コマ:30h)

77. 大分大学

2 リメディアル教育（高等学校課程の補習教育に限る）について

(1) 実施している科目毎の実施状況

1. 「基礎英語補習（経済学部）」 対象学生数：136人，実施時間数：60時間
2. 「英語補習（工学部）」 対象学生数：39人，実施時間数：30時間

(2) リメディアル教育の位置づけ等について

大学教育への導入教育として位置付けており，単位取得はできないが正規の授業として設定している。
各学部との連携については，現在のところ想定していない。

(3) 業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

職員の人数：5人（全員非常勤講師）
予算：750千円（非常勤講師手当）

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

78. 宮崎大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

数学補習(対象:数学Ⅲ未履修の工学部1年生約60名)90分×6回=540時間
物理補習(対象:物理未履修の工学部1年生約40名)90分×10回=900時間

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

工学部の授業は高校の数学Ⅲと物理の知識をある程度前提として進めるため、これらを未履修または履修不十分のまま入学してきた工学部新入生(主に、実業系高校出身の推薦入学者)を対象に、上記補習を工学部単独で実施している。該当学生には入学時ガイダンスにて案内し、ほぼ強制的に受講させている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

担当職員: 工学部FD委員1名[補習授業の企画、補習授業担当講師(非常勤)との連絡]
予算: 約37万円[非常勤講師料]

② 外部委託の現状、今後の予定

この補習授業そのものは、非常勤講師(本学を定年退職した教員)にお願いしている。
今後も同様の予定。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

この補習の内容・日程等については、工学部FD委員会が決める。上記のFD委員1名を介して予め非常勤講師に伝えている。また、毎年、受講生にアンケートをとり、次年度以降のこの補習の内容・日程等の改善を工学部FD委員会で検討している。

79. 鹿児島大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

(平成21年度実施分)
英語:40人、90分×11回 物理学基礎:15人、90分×15回
数学:80人、90分×12回 物理:90人、90分×12回
化学:30人、90分×10回 生物:50人、90分×12回

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

主に、職業学科及び総合学科卒業生又は帰国子女に対して、当該学生の未履修科目の補習教育を実施している。また、全学の教務委員会において、科目開設学部との調整を行っている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

事務局及び科目開設学部(5学部)の教務担当職員が兼務している。
実績に基づき、講師謝金(学外講師)及び教材作成費等の経費を学内で措置している。

② 外部委託の現状、今後の予定

なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

なし

80. 鹿屋体育大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当なし

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当なし

② 外部委託の現状、今後の予定

該当なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

該当なし

81. 琉球大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

- ・微分積分学入門Ⅰ(対象学生;130名、実施時間;90分×15回)
- ・微分積分学入門Ⅱ(対象学生;130名、実施時間;90分×15回)
- ・物理学入門Ⅰ(対象学生;300名、実施時間;90分×15回)
- ・物理学入門Ⅱ(対象学生;300名、実施時間;90分×15回)
- ・化学入門(対象学生;100名、実施時間;90分×15回)
- ・化学入門Ⅰ(対象学生;100名、実施時間90分×15回)
- ・化学入門Ⅱ(対象学生;100名、実施時間90分×15回)
- ・基礎数学(対象学生;30名、実施時間90分×15回)
- ・基礎数学Ⅰ(対象学生;180名、90分×15回)
- ・基礎数学Ⅱ(対象学生;80名、90分×15回)
- *学習サポートルーム(毎週水曜日15:00~17:00)

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

琉球大学の授業科目は、共通教育、専門基礎教育及び専門教育の科目群に分けられている。その中の専門基礎教育の科目は、理科系の専門教育を履修するための基礎になる科目から構成されている。科目としては先修科目と転換科目からなり、先修科目は、理科系の専門科目を履修する前に、必要条件として履修する科目である。また、理科系の学部で学ぶ学生の中には高等学校での科目履修制度の改革や、入学試験の選択科目の選び方によって、先修科目や専門教育を履修するための基礎学力が不足している場合があり、学生の学習到達度の違いや、入試制度の多様化に柔軟に対応できるように、高校から大学への学習の補完を図るため転換科目を設けている。

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

- ・微分積分学入門Ⅰ 常勤:1名、非常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- ・微分積分学入門Ⅱ 常勤:1名、非常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- ・物理学入門Ⅰ 常勤:3名、(夜間主)常勤:1名
- ・物理学入門Ⅱ 常勤:3名、(夜間主)常勤:1名
- ・化学入門 常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- ・化学入門Ⅰ 非常勤:1名
- ・化学入門Ⅱ 常勤:1名
- ・基礎数学 非常勤:1名
- ・基礎数学Ⅰ 非常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- ・基礎数学Ⅱ 非常勤:1名、(夜間主)非常勤:1名
- 合計 23名 (うち非常勤講師10名、非常勤講師手当 計 1,815,900円)
- *学習サポートルーム TA:2名から4名、謝金 計 65,360円

② 外部委託の現状、今後の予定

- ・外部に委託なし
- ・現在のところ委託の予定なし

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

82. 北陸先端科学技術大学院大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当なし

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

83. 奈良先端科学技術大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

該当無し

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

該当無し

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

該当無し

② 外部委託の現状、今後の予定

該当無し

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

84. 総合研究大学院大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

--

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

--

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

--

② 外部委託の現状、今後の予定

--

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

--

85. 筑波技術大学

2. リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

聴覚障害者の学ぶ産業技術学部において1週14時間(英語4, 解析4, 数学2, 物理4)×25週
の授業を外部講師(近隣大学の大学院生及び私立大学の非常勤講師等)が担当している
対象学生数:英語3名、数学5~10名、物理5~10名

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

本学は聴覚・視覚障害者のための大学であると同時に工学系・医療系学科からなる。
高校までの情報保障が十分でなかった学生には特に外国語や理数系科目の学力不足の学生も多い。高校から理
系専門教育への橋渡しの観点からも高校課程の学力を保障するリメディアル教育は本学では特に重要と位置づけ
ている。
現在、カリキュラム外のリメディアル授業は上記(1)に限られるが、基礎教育課程にリメディアル教育の内容を盛り込
んだカリキュラム改革を進行中であり、今後は視覚障害学生の学ぶ保健科学部においても数学のリメディアル授業
が計画されている。

(3)業務の実施体制 *基礎教育を担当する部局の教員が中心となって外部講師手配等をコーディネートするほか手話通訳等の情報保障支援に当たっている。

① 本業務に実施している職員の人数、予算

外部講師数:8名
21年度予算(外部講師への謝金、旅費、テキスト代):658,490円

② 外部委託の現状、今後の予定

本学教員がコーディネートし、実際の授業は他大学大学院生や他校の非常勤講師が担当して
いる。ただし、本学の授業においては手話や字幕挿入といった情報補償が不可欠であり、この
業務については学内スタッフが担当している。本学の授業には手話通訳や教科書点訳といっ
た情報保障のための特殊技能が必須であるため今後も全面的な外部委託という形態は考えて
いない。

③ 外部委託をしている場合の具体的内容

86. 政策研究大学院大学

2 リメディアル教育(高等学校課程の補習教育に限る)について

(1)実施している科目毎の実施状況

本学は、政策研究者及び行政専門家を養成する大学院のみを有する大学であるため実施していない。

(2)リメディアル教育の位置づけ等について

(3)業務の実施体制

① 本業務に実施している職員の人数、予算

② 外部委託の現状、今後の予定

③ 外部委託をしている場合の具体的内容